『国際漁業研究』投稿票

本投稿票の空欄に必要事項を記入し、投稿原稿とともに国際漁業研究編集委員長・編集幹事Emailアドレスへご提出ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 投稿日 | | ２０　　年　　　月　　　日 | | |
| 原稿の種類（注１） | | □ 論文　　 □ 報告論文　 □ レビュー論文 　□ 研究ノート | | |
| □ 実態報告 □ シンポ報告　□ 書評 | | |
| 原稿のタイトル  （英文タイトル） | | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 著者  ※査読者が6名以上の場合、新しい行を挿入してください。 |  | 氏名 | 所属 | 会員種別（注２） |
| 第一著者  （英文氏名、所属） | （　　　　　　） | （　　　　　　　） |  |
| 第二著者  （英文氏名、所属） | （　　　　　　） | （　　　　　　　） |  |
| 第三著者  （英文氏名、所属） | （　　　　　　） | （　　　　　　　） |  |
| 第四著者  （英文氏名、所属） | （　　　　　　） | （　　　　　　　） |  |
|  | 第五著者  （英文氏名、所属） | （　　　　　　） | （　　　　　　　） |  |
| 責任著者  ※編集委員会と連絡する著者の情報を記入してください | | 氏名 | E-mail | 電話番号 |
|  |  |  |
| チェック項目  ※右の文章をよく読んで該当する場合はチェックしてください。 | | □ 本原稿は、学会ウェブサイトの投稿規定および「原稿の書き方」に沿って作成されている。  □ 本原稿は、二重投稿されておらず他の不正行為に基づく内容を含んでいない。 | | |

（注１）該当する原稿の種類にチェックしてください。原稿の種類の定義は以下の通りとします（論文、報告論文、レビュー論文、研究ノートは2名の匿名レフェリーによる査読が行われ、実態報告、シンポ報告、書評は査読なしですが編集委員1名による原稿チェックが行われます）。

・**論文**：オリジナルな研究内容をまとめた原稿。

・**報告論文**：国際漁業学会大会におけるシンポジウム報告および個別報告の内容をもとにした、和文による10枚程度までのコンパクトな原稿（論文）。審査は原則として2回までです。

・**レビュー論文**：特定のテーマに関する研究動向についてまとめた、10枚程度までのコンパクトな原稿（論文）。

・**研究ノート**：完成度は論文に達しないが、学術的な観点からの新規性、独自性を有し、速報性その他の観点から学会誌に掲載することが有意義と認められる原稿。

・**実態報告**：海外の内容については和文誌、国内の内容については英文誌への投稿を基本とした、漁業・水産業等の実態についてまとめた原稿。

・**シンポ報告**：国際漁業学会大会におけるシンポジウムでの報告内容についてまとめた、2～6枚程度の原稿。

・**書評**：関連分野の書籍について批評・紹介した、1～3枚程度の原稿。

（注２）会員種別には、一般会員、学生会員、賛助会員、在外（一般、学生）会員、非会員の別をご記入ください。